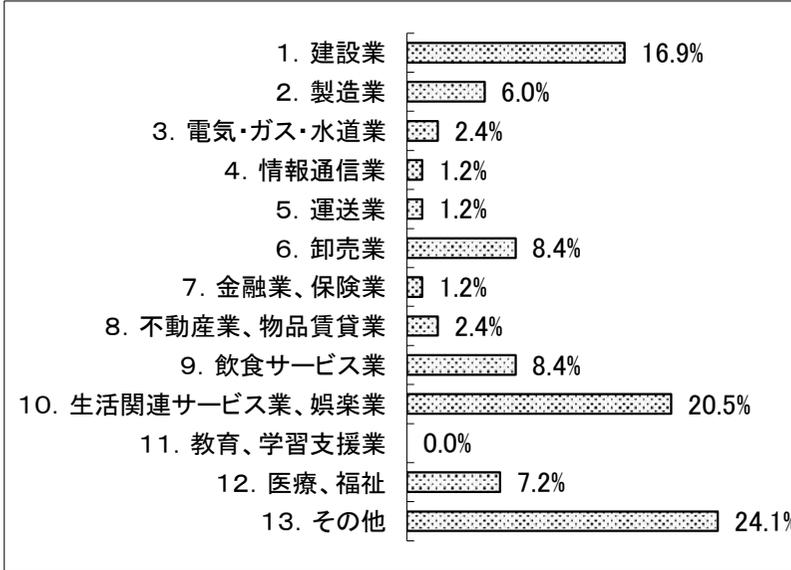


男女共同参画に
関するアンケート
【事業所分】

問1. 貴社の主な業種について、あてはまるものをお答えください。(○は一つだけ)

回収率 15.1%
551通配布
83通回収

	業種数	割合
1. 建設業	14	16.9%
2. 製造業	5	6.0%
3. 電気・ガス・水道業	2	2.4%
4. 情報通信業	1	1.2%
5. 運送業	1	1.2%
6. 卸売業	7	8.4%
7. 金融業、保険業	1	1.2%
8. 不動産業、物品賃貸業	2	2.4%
9. 飲食サービス業	7	8.4%
10. 生活関連サービス業、娯楽業	17	20.5%
11. 教育、学習支援業	0	0.0%
12. 医療、福祉	6	7.2%
13. その他	20	24.1%
合計	83	100%



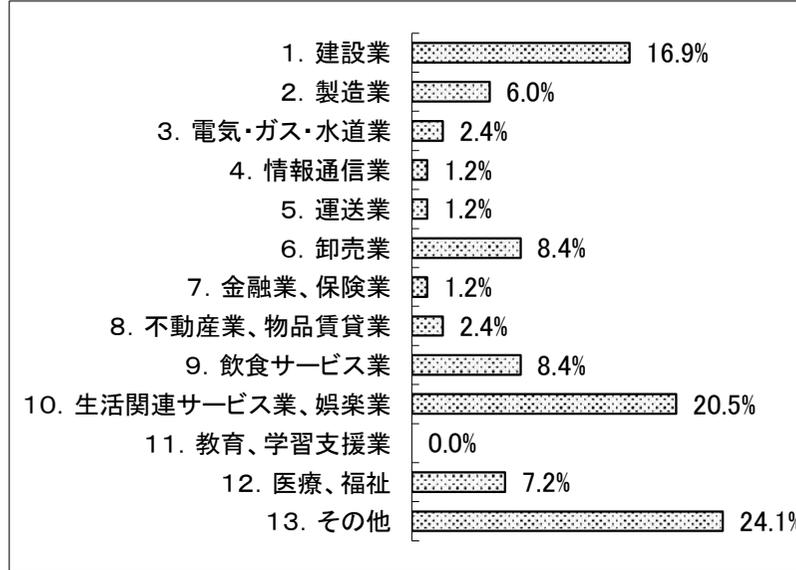
その他業種

小売
警備業
冠婚葬祭業
介護支援・相談支援
シルバー人材センター
文具小売
酒小売業
測量設計業務
小売業
その他サービス業、産業廃棄物、一般廃棄物収集運搬業
営業代行業
税理士
サービス業(大型車両の塗装・钣金・修理)
無記名

問1. 貴社の主な業種について、あてはまるものをお答えください。(○は一つだけ)

回収率 15.1%
551通配布
83通回収

	業種数	割合
1. 建設業	14	16.9%
2. 製造業	5	6.0%
3. 電気・ガス・水道業	2	2.4%
4. 情報通信業	1	1.2%
5. 運送業	1	1.2%
6. 卸売業	7	8.4%
7. 金融業、保険業	1	1.2%
8. 不動産業、物品賃貸業	2	2.4%
9. 飲食サービス業	7	8.4%
10. 生活関連サービス業、娯楽業	17	20.5%
11. 教育、学習支援業	0	0.0%
12. 医療、福祉	6	7.2%
13. その他	20	24.1%
合計	83	100%



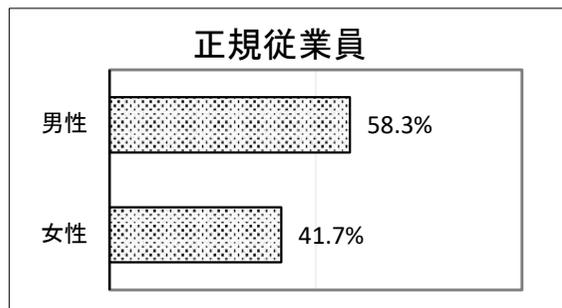
その他業種

小売
警備業
冠婚葬祭業
介護支援・相談支援
シルバー人材センター
文具小売
酒小売業
測量設計業務
小売業
その他サービス業、産業廃棄物、一般廃棄物収集運搬業
営業代行業
税理士
サービス業(大型車両の塗装・钣金・修理)
無記名

問2. 貴社の従業員(問3の役職者を含む)の人数を教えてください(数字を記入)

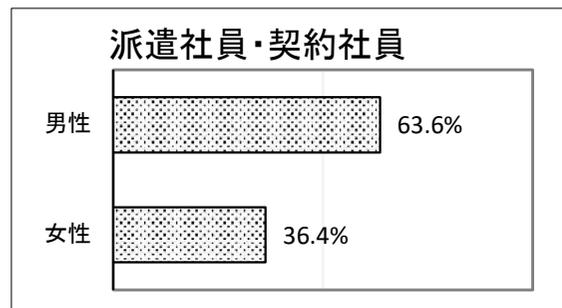
正規従業員

	人数	割合
男性	887	58.3%
女性	634	41.7%
合計	1,521	100.0%



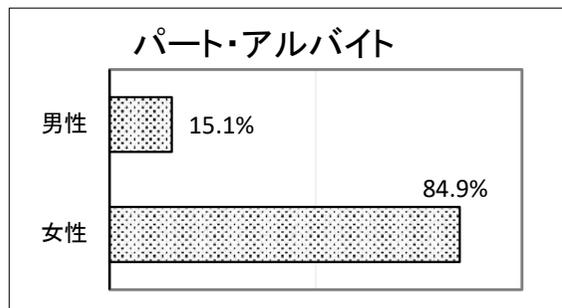
派遣社員・契約社員

	人数	割合
男性	7	63.6%
女性	4	36.4%
合計	11	100.0%



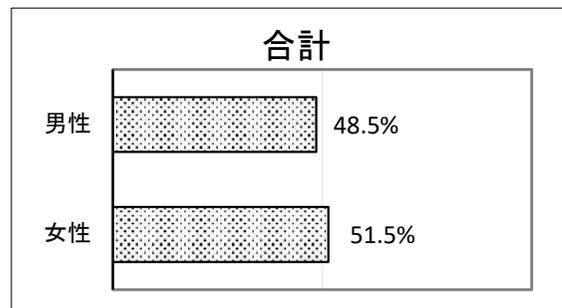
パート・アルバイト

	人数	割合
男性	68	15.1%
女性	383	84.9%
合計	451	100.0%



合計

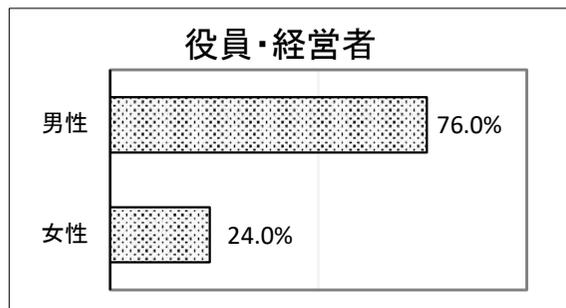
	人数	割合
男性	962	48.5%
女性	1,021	51.5%
合計	1,983	100.0%



問3. 貴社の男女別の役職者の人数を教えてください(数字を記入)

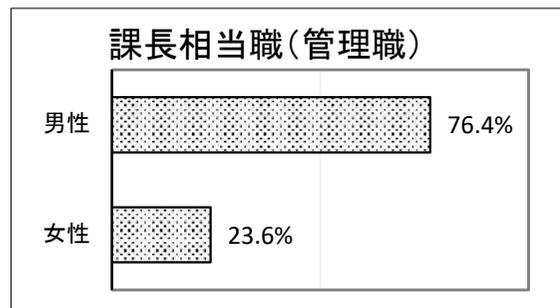
役員・経営者

	人数	割合
男性	146	76.0%
女性	46	24.0%
合計	192	100.0%



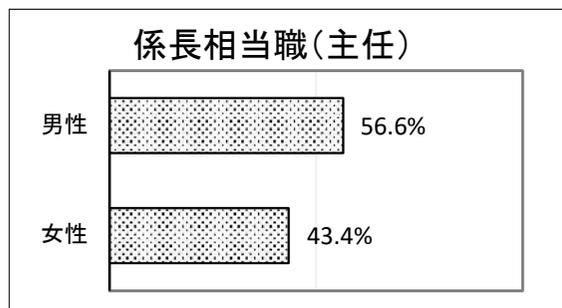
課長相当職(管理職)

	人数	割合
男性	149	76.4%
女性	46	23.6%
合計	195	100.0%



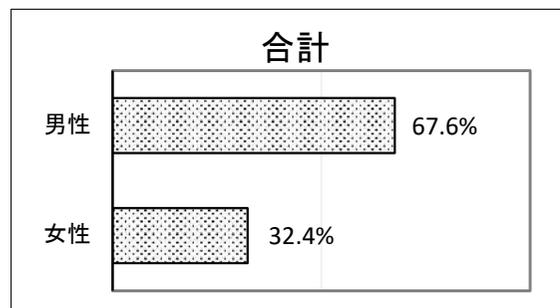
係長相当職(主任)

	人数	割合
男性	171	56.6%
女性	131	43.4%
合計	302	100.0%



合計

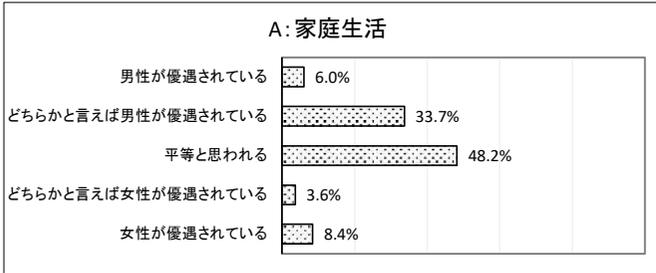
	人数	割合
男性	466	67.6%
女性	223	32.4%
合計	689	100.0%



問4. あなたは、男女平等についてどのように感じていますか。(各項目で○は一つ)

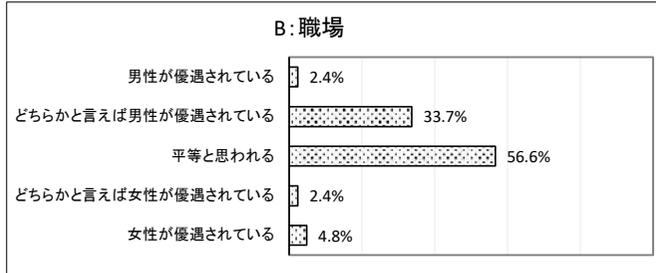
A. 家庭生活

	人数	割合
男性が優遇されている	5	6.0%
どちらかと言えば男性が優遇されている	28	33.7%
平等と思われる	40	48.2%
どちらかと言えば女性が優遇されている	3	3.6%
女性が優遇されている	7	8.4%
合計	83	100.0%



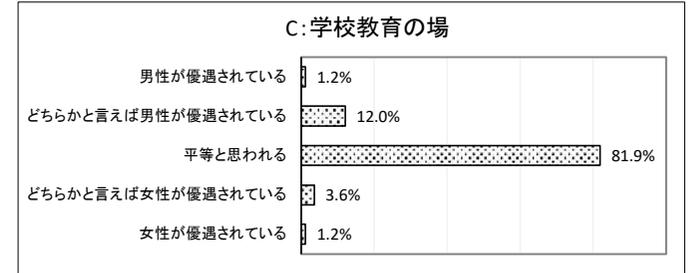
B. 職場

	人数	割合
男性が優遇されている	2	2.4%
どちらかと言えば男性が優遇されている	28	33.7%
平等と思われる	47	56.6%
どちらかと言えば女性が優遇されている	2	2.4%
女性が優遇されている	4	4.8%
合計	83	100.0%



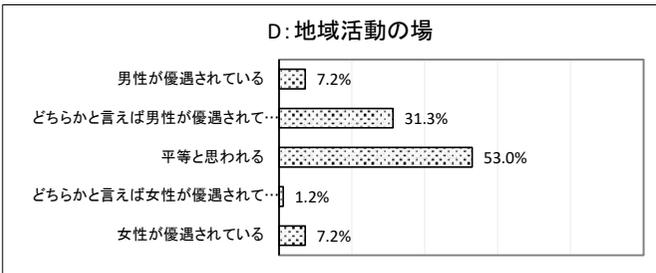
C. 学校教育の場

	人数	割合
男性が優遇されている	1	1.2%
どちらかと言えば男性が優遇されている	10	12.0%
平等と思われる	68	81.9%
どちらかと言えば女性が優遇されている	3	3.6%
女性が優遇されている	1	1.2%
合計	83	100.0%



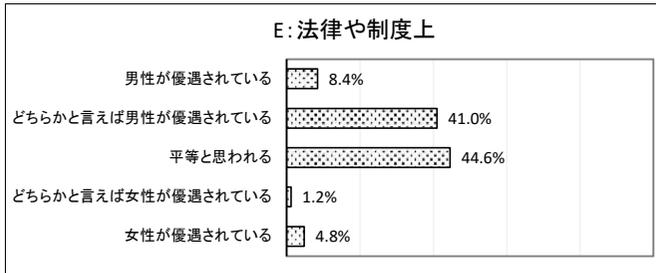
D. 地域活動の場

	人数	割合
男性が優遇されている	6	7.2%
どちらかと言えば男性が優遇されている	26	31.3%
平等と思われる	44	53.0%
どちらかと言えば女性が優遇されている	1	1.2%
女性が優遇されている	6	7.2%
合計	83	100.0%



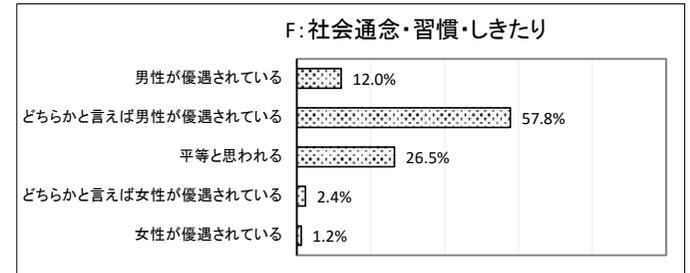
E. 法律や制度上

	人数	割合
男性が優遇されている	7	8.4%
どちらかと言えば男性が優遇されている	34	41.0%
平等と思われる	37	44.6%
どちらかと言えば女性が優遇されている	1	1.2%
女性が優遇されている	4	4.8%
合計	83	100.0%



F. 社会通念・習慣・しきたり

	人数	割合
男性が優遇されている	10	12.0%
どちらかと言えば男性が優遇されている	48	57.8%
平等と思われる	22	26.5%
どちらかと言えば女性が優遇されている	2	2.4%
女性が優遇されている	1	1.2%
合計	83	100.0%



問5. この5年間で育児休業制度を利用した従業員はいましたか。
 (○をつけて実人数を記入してください)

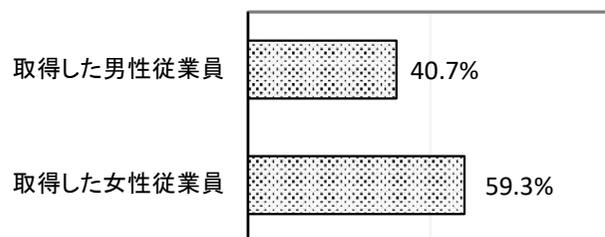
従業員数

	人数	割合
取得した男性従業員	72	40.7%
取得した女性従業員	105	59.3%
合計	177	100.0%

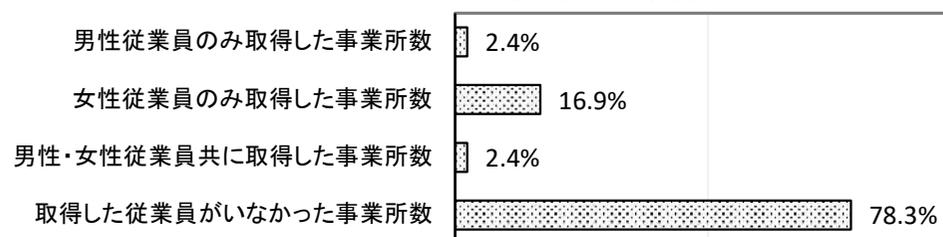
事業所数

	事業所数	割合
男性従業員のみ取得した事業所数	2	2.4%
女性従業員のみ取得した事業所数	14	16.9%
男性・女性従業員共に取得した事業所数	2	2.4%
取得した従業員がいなかった事業所数	65	78.3%
合計	83	100.0%

取得した人数の割合



取得した事業所数の割合



問6. この5年間で介護休業制度を利用した従業員はいましたか。
 (○をつけて実人数を記入してください)

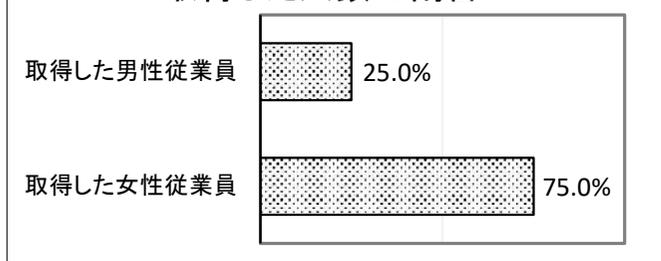
従業員数

	人数	割合
取得した男性従業員	2	25.0%
取得した女性従業員	6	75.0%
合計	8	100.0%

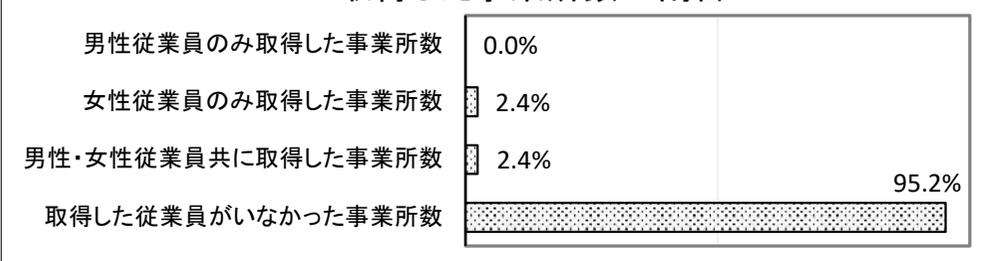
事業所数

	事業所数	割合
男性従業員のみ取得した事業所数	0	0.0%
女性従業員のみ取得した事業所数	2	2.4%
男性・女性従業員共に取得した事業所数	2	2.4%
取得した従業員がいなかった事業所数	79	95.2%
合計	83	100.0%

取得した人数の割合

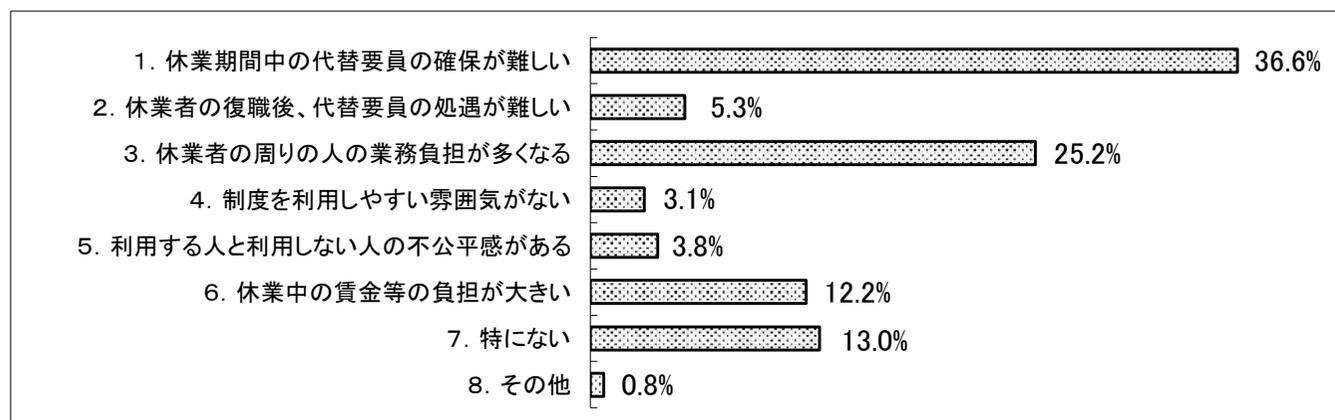


取得した事業所数の割合



問7. 育児・介護休業制度の普及にあたって、課題と思うことはありますか。
 (〇は二つまで)

	人数	割合
1. 休業期間中の代替要員の確保が難しい	48	36.6%
2. 休業者の復職後、代替要員の処遇が難しい	7	5.3%
3. 休業者の周りの人の業務負担が多くなる	33	25.2%
4. 制度を利用しやすい雰囲気がない	4	3.1%
5. 利用する人と利用しない人の不公平感がある	5	3.8%
6. 休業中の賃金等の負担が大きい	16	12.2%
7. 特にない	17	13.0%
8. その他	1	0.8%
合計	131	100%

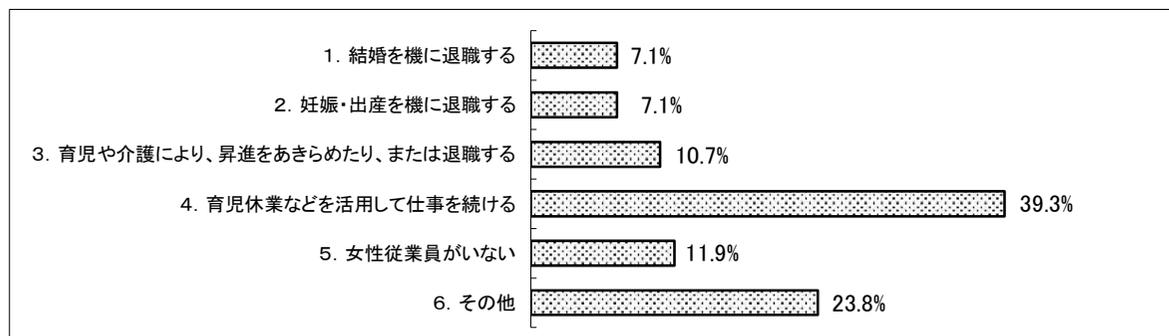


その他の意見

内容未記入

問8. 貴社の女性従業員はどのような働き方が多いですか。(○は二つまで)

	人数	割合
1. 結婚を機に退職する	6	7.1%
2. 妊娠・出産を機に退職する	6	7.1%
3. 育児や介護により、昇進をあきらめたり、または退職する	9	10.7%
4. 育児休業などを活用して仕事を続ける	33	39.3%
5. 女性従業員がいない	10	11.9%
6. その他	20	23.8%
合計	84	100%

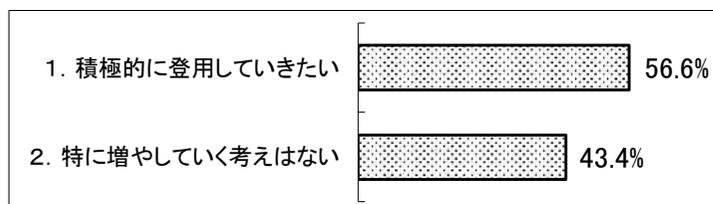


その他の意見

事務作業
配偶者
子供の成長に伴い、シフトに入る量が増えてきている
女性が少ない。今のところは該当することがない
上記理由による退職はいない。長期勤務者が多い
40歳代が多い
自営業なので女性が自分だけなので
該当する人がいない
何もかわらない
既婚者で出産に該当する社員はまだいない
個人事業なので、特に問題はない。手伝い(臨時雇い)に来れる人がいる。
パートタイムで働く
子育てが終わった人ばかりなので不明
特に対象となる人がいない
内容未記入×6

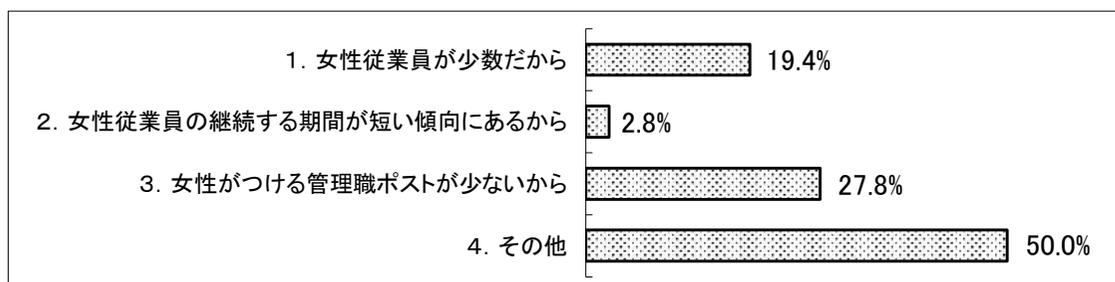
問9. 今後、管理職等(役職)の登用にあって、女性を積極的に登用する考えはありますか。

	人数	割合
1. 積極的に登用していきたい	47	56.6%
2. 特に増やしていく考えはない	36	43.4%
合計	83	100%



「2. 特に増やしていく考えはない」を選択した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

	人数	割合
1. 女性従業員が少数だから	7	19.4%
2. 女性従業員の継続する期間が短い傾向にあるから	1	2.8%
3. 女性がつける管理職ポストが少ないから	10	27.8%
4. その他	18	50.0%
合計	36	100%

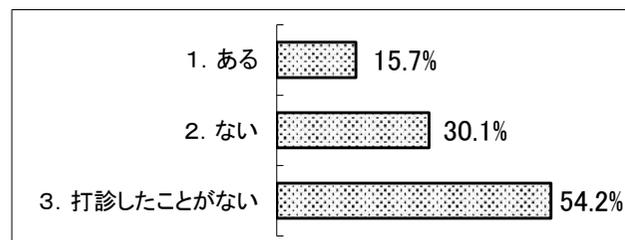


その他の意見

建設業なので力仕事が多い為女性は考えてない
会社の方針のため
能力次第なので性別は関係無い
管理職がない
役職がない
従業員を増やす事がないので
重労働だから
一人で十分
いない
女性だけの職場なので現状のままで良い
従業員を必要としない
内容未記入×6

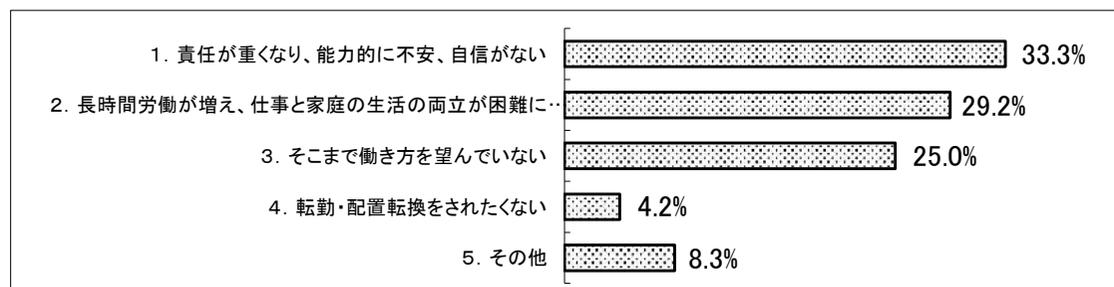
問10. 管理職等(役職)に登用しようとした際に、女性従業員に断られたことがありますか。

	人数	割合
1. ある	13	15.7%
2. ない	25	30.1%
3. 打診したことがない	45	54.2%
合計	83	100%



断られた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

	人数	割合
1. 責任が重くなり、能力的に不安、自信がない	8	33.3%
2. 長時間労働が増え、仕事と家庭の生活の両立が困難になる	7	29.2%
3. そこまで働き方を望んでいない	6	25.0%
4. 転勤・配置転換をされたくない	1	4.2%
5. その他	2	8.3%
合計	24	100%



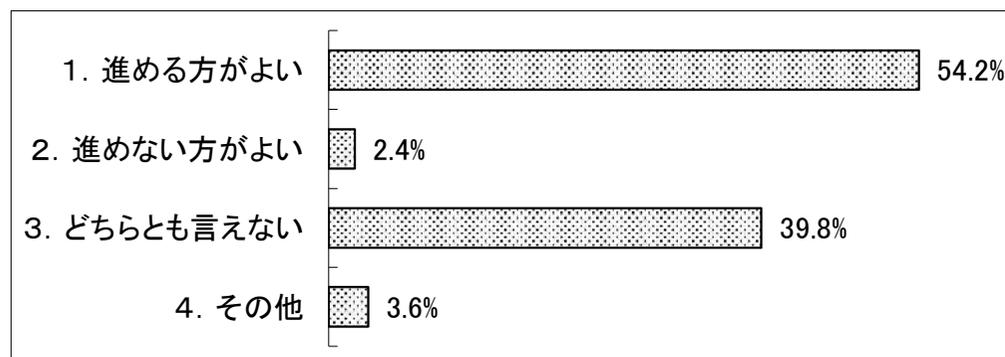
その他の意見

管理職がない

内容未記入

問11. 男性が育児や介護のための休業制度をとることを社会的に進めることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は一つだけ)

	人数	割合
1. 進める方がよい	45	54.2%
2. 進めない方がよい	2	2.4%
3. どちらとも言えない	33	39.8%
4. その他	3	3.6%
合計	83	100%



その他の意見

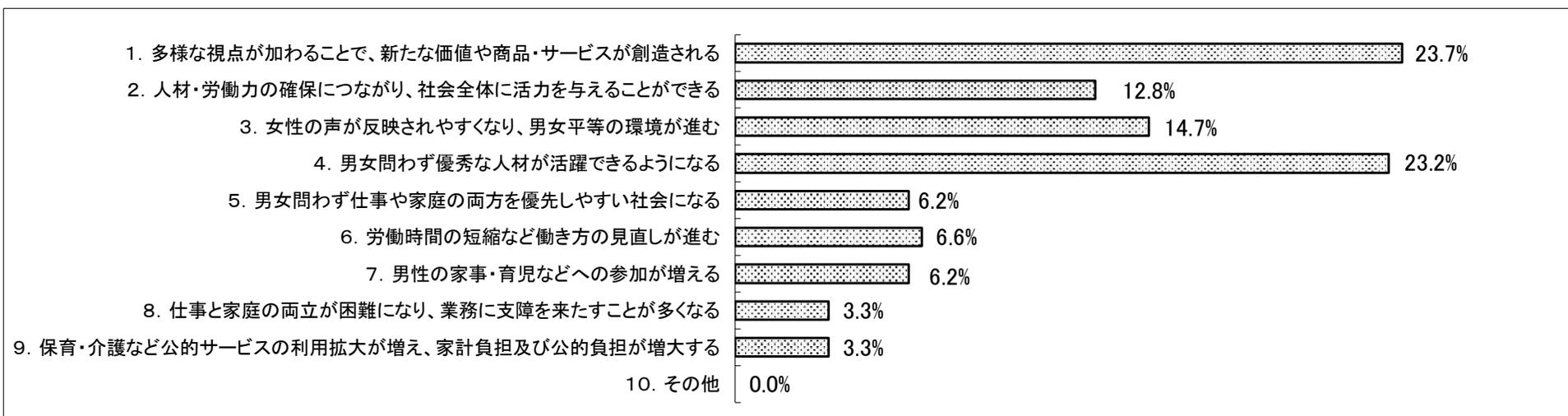
進めたくない。介護は別として、育休からの復帰時、本人が困ると思う。

しっかりと育児をするなら良いが、ただ手伝いのつもりでの休みは妻のストレスになると思う。

内容未記入

問12. 男女共同参画社会において、様々な女性の参加が進む方向性が求められています。女性の参画やリーダーが増え、政策や経営の方針等に関わる機会も増えることで、どのような影響があると思いますか。(〇は三つまで)

	人数	割合
1. 多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される	50	23.7%
2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる	27	12.8%
3. 女性の声が反映されやすくなり、男女平等の環境が進む	31	14.7%
4. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	49	23.2%
5. 男女問わず仕事や家庭の両方を優先しやすい社会になる	13	6.2%
6. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	14	6.6%
7. 男性の家事・育児などへの参加が増える	13	6.2%
8. 仕事と家庭の両立が困難になり、業務に支障を来すことが多くなる	7	3.3%
9. 保育・介護など公的サービスの利用拡大が増え、家計負担及び公的負担が増大する	7	3.3%
10. その他	0	0.0%
合計	211	100%

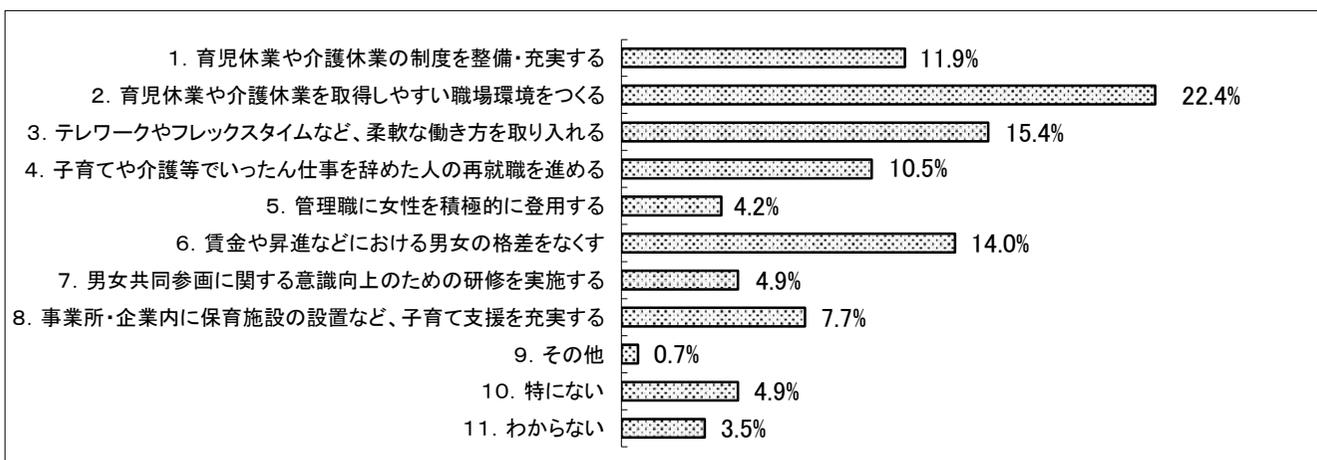


その他の意見

なし

問13. 男女共同参画社会を実現するために、事業所・企業は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は二つまで)

	人数	割合
1. 育児休業や介護休業の制度を整備・充実する	17	11.9%
2. 育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる	32	22.4%
3. テレワークやフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れる	22	15.4%
4. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を進める	15	10.5%
5. 管理職に女性を積極的に登用する	6	4.2%
6. 賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす	20	14.0%
7. 男女共同参画に関する意識向上のための研修を実施する	7	4.9%
8. 事業所・企業内に保育施設の設置など、子育て支援を充実する	11	7.7%
9. その他	1	0.7%
10. 特になし	7	4.9%
11. わからない	5	3.5%
合計	143	100%

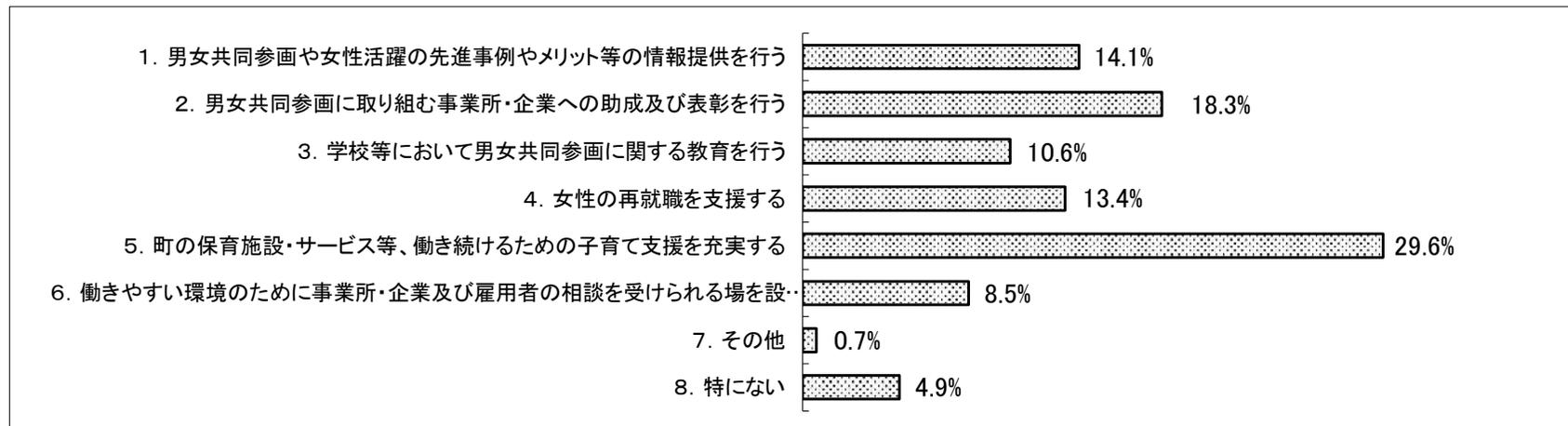


その他の意見

人員を増加させないときびしい

問14. 職場における男女共同参画を推進するため、町に希望する支援等はどのようなものがありますか。(〇は二つまで)

	人数	割合
1. 男女共同参画や女性活躍の先進事例やメリット等の情報提供を行う	20	14.1%
2. 男女共同参画に取り組む事業所・企業への助成及び表彰を行う	26	18.3%
3. 学校等において男女共同参画に関する教育を行う	15	10.6%
4. 女性の再就職を支援する	19	13.4%
5. 町の保育施設・サービス等、働き続けるための子育て支援を充実する	42	29.6%
6. 働きやすい環境のために事業所・企業及び雇用者の相談を受けられる場を設ける	12	8.5%
7. その他	1	0.7%
8. 特にない	7	4.9%
合計	142	100.0%



その他の意見

助成金他

男女共同参画全般に対して、町に対する意見・要望などがありましたら記載願います。

事業所分

意見	業種
非正規雇用ではなく正社員としての採用を増やしてほしいです。	卸売業
国や町は働きやすい環境をつくるために、子育て、家庭環境、会社などに一つ一つ相談を受けて、助成金を出すよう取り組むことができるよう応援する。	生活関連サービス業、娯楽業
このようなアンケートがいない社会になると良い	文具小売
どちらかと言えば男性が優遇されている事の一つとして、今回のようなアンケートでもほとんどが男性の欄が女性の欄より先になっています。「男女共同参画」という言葉も「男」が先になっていますので、如何なものかと思えます。	小売業
個人事業の場合、求人広告まで出せないの、「おしらせばん」などにもこの店で臨時的にお手伝い出来る方。などのお知らせを載せて頂ければいいのかと思えます。 そうすることにより、何らかの理由でお休みしていた方が社会復帰になるきっかけにもなると考えています。	飲食サービス業
女性のデジタル人材育成を強化し、仕事と子育ての両立が出来る『テレワーク』を、住民や企業へ推進して行くことで、女性の活躍出来る場が増える。女性の仕事の選択肢が広がる。	営業代行業